

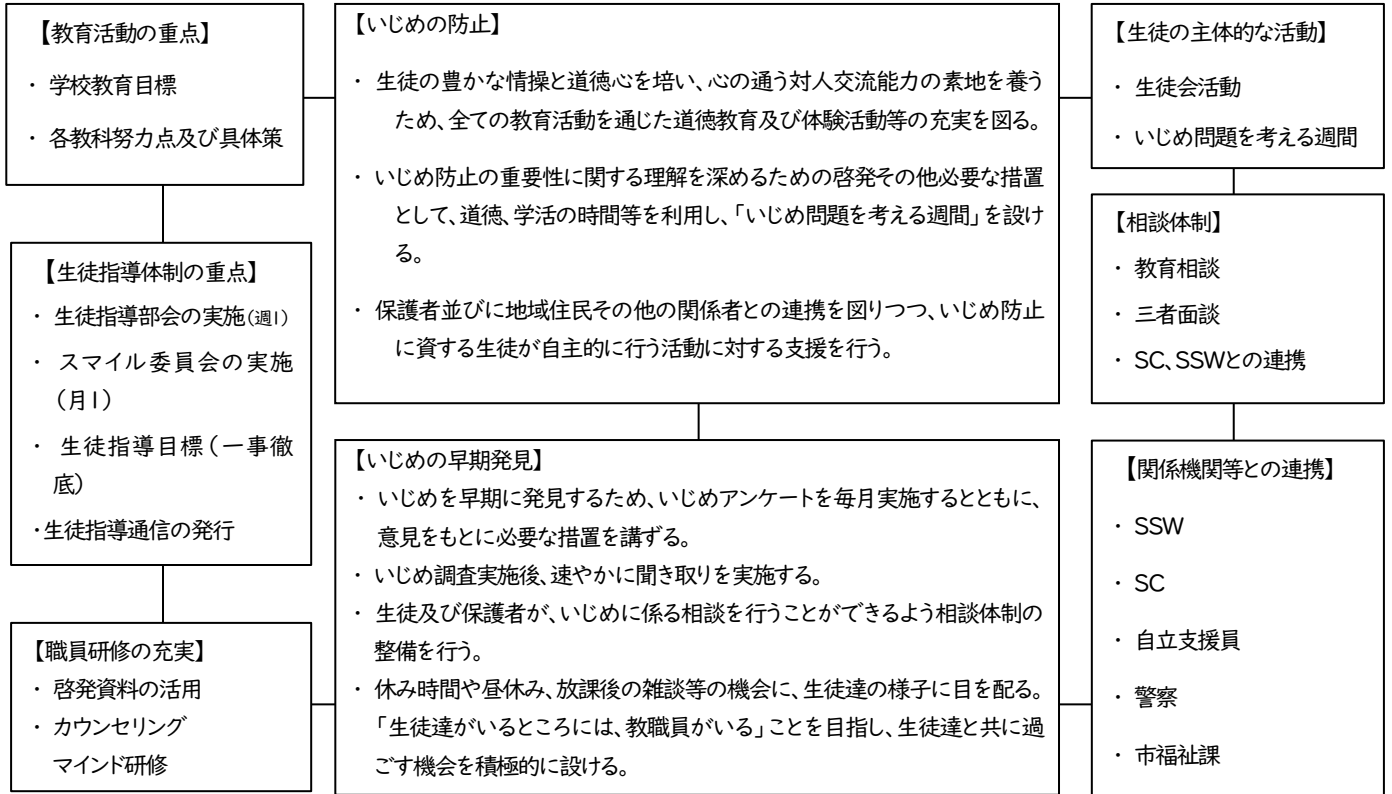
# 令和7年度 いじめ防止基本方針

阿久根市立阿久根中学校

学校教育目標  
豊かな心を持ち、自ら学ぶたくましい生徒の育成

## いじめの定義(いじめ防止対策推進法)

児童に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む。)であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの。



## 【実践目標】 いじめの積極的認知

～いじめの認知件数が多いことは教職員の目が行き届いていることのあかし～

### 【組織的ないじめ対応の流れ】

いじめの発見

① いじめに係る相談を受けた場合は、すみやかに事実の有無の確認を行う。

・ 情報を集め組織的に共有する。 生徒指導部会(週1回) スマイル委員会(月1回)

② 指導・支援体制を組む

・ 「生徒指導部会・学年部会」で指導・支援体制を組む。

③ A 子供への指導・支援を行う。

- ・ いじめられた生徒をいじめから救い出し、徹底的に守り通す。
- ・ いじめた生徒には、自らの行為の責任を自覚させ、いじめを向かわせない力を育む。
- ・ いじめを見ていた生徒に対して、自分の問題として、誰かに知らせる勇気を持つように伝える。

B 保護者と連携する。

- ・ 即日、関係性との家庭訪問等を行い、事実関係を伝え、今後の連携方法について話し合う。
- ・ いじめを受けた生徒等が安心して教育を受けるために必要があると認められるときは、保護者と連携を図りながら、一定期間、別室等において学習を行わせるなどの措置を講ずる。

④ 犯罪行為として取り扱われるべきいじめについては、教育委員会及び所轄警察署等と連携して対処する。